## 

函嶺洞門と並行して、川が流れている。一休み。

さて、今、置かれている環境や状況、身の程、時間帯、等々考えて、どうするか? 宿は確保できるか、箱根峠まで、一気に行くか、それが問題。

道路状況なども考慮しないとならない。一思案。楽な旅ではないのは、最初から覚悟して この旅をスタートしているので、前進するのみなのだが、リスク回避も課題。







何度も振り返り、背後を確認。

## 山はみどり 野に花 人にはこころ

進行方向とは逆に、皆さんの運転も配慮して、国内外の旅経験から、 お国柄もある。事故は、待ったなし、言い訳なし、後悔なし。なかなか進むのは至難。 進まなければ、前に行けない。しかし、**いい訓練になる**。





